

はやま住民福祉センターだより

今月のテーマ

きかちゃんに心臓移植を！ 目標額3億5千万円

葉山町社会福祉協議会も支援をさせていただいております。どうかご寄付をお願い致します。

森 木花(きか)ちゃんは3歳の葉山町在住の女の子です。1歳で入院してから「拡張型心筋症」という病気を治すために沢山の治療をしてきました。しかし、進行を止めることは難しく、今は感染症や血栓による脳梗塞のリスクを抱えながら、「補助人工心臓」の助けを借りて心臓移植を待っています。きかちゃんは、このままでは4歳の誕生日を迎えられるか、分かりません。一刻も早い米国での心臓移植の実現の為、みなさまの支援を心よりお願いいたします。

両親からのお願い

私たちの娘、木花は、1歳4か月まで元気いっぱい食欲旺盛な子どもでした。ところが2019年6月、嘔吐を繰り返したため、かかりつけ医を受診すると思いきや心音の異常を指摘されました。急いで向かった総合病院の診察で「拡張型心筋症」であると告げられました。

初めて耳にする病名で、検索すると“治療困難”や“予後不良”の文字が目飛び込んできて体中がガクガクと震え、何かの間違いであってほしい、と現状を受け入れることができませんでした。入院後、内科的治療を開始。しかし脳梗塞や感染症を併発し、みるみる弱っていく木花の姿を、私たちはただただ見守る事しかできませんでした。内科的治療の限界を迎えていた2020年3月、成育医療研究センターに転院、補助人工心臓を装着する手術を行い、命をつなぐことができました。心臓を補助してもらうことで、歩いたり食べたりできるまでに持ち直し、このまま国内で移植を待てる、と胸を撫で下ろしました。ところが11月に心不全が悪化。拡張型心筋症が進行性の病気であること、補助人工心臓は心臓移植までの橋渡しでしかないこと、木花の命の期限が近づいていることを、改めて気づかされた瞬間でした。

もう一度、家族4人で過ごしたい。

入院して2年。以前のようにまたみんなで食卓を囲み、笑いながらお話ししたい。一緒にお散歩して、季節を感じ、たわいない日常を過ごしたい。私たちは、木花が生きていく可能性があるのなら、海外での移植を目指すことを決意しました。誠に勝手なお願いと重々承知しておりますが、どうか私たち家族の願いに、ご支援とご協力をお願いいたします。
森 賢吾・理恵子



きかちゃんを救う会は、きかちゃんの両親の友人で構成されたボランティア団体です。きかちゃん兄の幼稚園繋がり保護者が中心となり活動しています。

募金の振込先 口座名「キカちゃんラスクウカイ」

みずほ銀行 大船支店 普通3045727 三井住友銀行 逗子支店 普通6918429

三菱UFJ銀行 逗子支店 普通0194029 ゆうちょ銀行 (ゆうちょ銀行から) 逗子支店 記号番号00290-8-92232 (他金融機関から) ○二九支店 当座0092232

横浜銀行 葉山支店 普通6063096 かながわ信用金庫 逗子支店 普通1257295

湘南信用金庫 逗子支店 普通0145501 十八親和銀行 南島原支店 普通3050416

〒249-0003 逗子市池子3-1-17 ハイツイデクリヨン103 [代表] 前島麻子 [副代表] 清水涼子

[E-mail] thinkaboutkika@gmail.com HP <https://www.think-about-kika.com/>

